

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	文化財の保存と活用					
(2)	総合計画の体系	第 4 章	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
		第 4 節	多彩な文化が交流するまちづくり				
		第 30 細節	文化財の保存と活用				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		60,531	64,368	83,026	
		従事職員数		8.10 人	8.10 人	9.30 人	
		所要人件費(B)		64,373	67,654	75,981	
		総事業費(A+B)		124,904	132,022	159,007	
		財源内訳	収入	国庫支出金	500	500	8,904
				府支出金	0	0	0
				その他	1,111	552	55
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	1,600	1,279
一般財源	123,293			129,370	148,769		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	旧西尾家住宅、旧中西家住宅、博物館の年間入館者数	目標値 (単位:人)	29,024.00	28,419.00	21,309.00
		実績値 (単位:人)	40,897.00	42,978.00	
目標値の積算方法	前年の旧西尾家住宅、旧中西家住宅、博物館の年間入館者数、及び平成16年度の博物館の入館者数×1.5を合算	達成度(%)	140.9	151.2	
指標内容	旧西尾家住宅、旧中西家住宅、博物館の諸事業、企画展等の開催回数	目標値 (単位:回)	21.00	21.00	21.00
		実績値 (単位:回)	23.00	23.00	
目標値の積算方法	旧西尾家住宅、旧中西家住宅の前年度諸事業開催回数及び、平成16年度の博物館企画展等開催回数+1	達成度(%)	109.5	109.5	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

博物館を拠点とした歴史学習の場を提供していくことは、文化施設としての責務であることから、市民団体、学校等と協働し事業展開を図っている。また、旧西尾家住宅、旧中西家住宅については、貴重な文化財建造物としての価値を生かしながら、それぞれの建物への特性に応じた活用を図り、地域の歴史文化の発展に寄与していくことが必要である

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	公開展示事業	文化財保護課	00981	全部	大	20	20	18	20	16	94	継続
2	調査研究事業	文化財保護課	00979	全部	大	18	18	14	20	16	86	継続
3	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業	文化財保護課	00976	一部	大	16	16	16	18	18	84	継続
4	文化財調査事業	文化財保護課	00972	なし	大	18	14	16	16	18	82	拡充
5	文化財保存・活用事業	文化財保護課	00974	なし	大	18	16	14	18	16	82	継続
6	文化財公開・啓発事業	文化財保護課	00973	全部	大	16	16	14	18	18	82	継続
7	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業	文化財保護課	00977	一部	中	14	16	16	18	18	82	継続
8	吹田学事始め事業	文化財保護課	00975	全部	中	16	16	14	18	16	80	継続
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		評価点数を参考に順位を設定しており「公開展示事業」「調査研究事業」「旧西尾家住宅保存活用事業」は、文化財行政の根幹となる事業のため上位に位置している。「旧中西家住宅保存活用事業」「和の学校伝統文化こども教室事業」は下位であるが、文化財の公開、活用を図るうえで重要な事業である										